

回復期リハビリテーションを要する状態（区分別内訳）

退棟患者疾患別内訳					
対象疾患		入院期間	2026年5月	2026年6月	2026年7月
①	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等、義肢装具訓練を要する状態	150日	4	2	5
①'	上記疾患にて高次脳機能障害等を生じる重症の場合	180日	0	2	1
②	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折	90日	9	8	6
③	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有した状態	90日	3	4	2
④	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後	60日	1	0	1
⑤	股関節又は膝関節の置換術後	90日	1	1	4
⑥	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患	90日	0	0	0
		合計	18	17	19

リハビリテーション実績指数			
実績指数とは、リハビリテーションを提供し改善を示す数値であり、実績指数が27点以上で「効果に係る相当程度の実績が認められる」と判断されます。		2026年5月	2026年6月
			2026年7月
$\frac{\text{各患者の（退棟時の運動機能－入棟時の運動機能）の総和}}{\text{各患者の（在棟日数/回復期リハビリ病棟入院算定上限日数）の総和}}$		64.97	65.74
			67.64